

合同会社千葉香取ソーラーパワー 千葉香取メガソーラー発電所

■事業概要

本事業は、千葉県香取市にある採土跡地に敷地面積 203,796 m²、PCS 容量 10,500kW の千葉香取メガソーラー発電所を建設し、太陽光エネルギーを利用して発電した電気を供給するものである。

項目	内容
利子補給対象	太陽光発電設備への融資
所在地	千葉県香取市返田
用途地域	—
PCS 容量	10,500kW
工事予定期間	2018 年 12 月～2019 年 12 月
供用開始予定	2020 年 1 月

■立地環境

事業予定地は、千葉県香取市返田に位置し、基本的には元々採土跡地とシイ・カシ二次林やスギ・ヒノキ・サワラ林を主体とする樹林帯であったが、現在は整地されている。都市計画の用途地域指定外であり、騒音、振動、悪臭に関する地域類型の指定はない。事業予定地の周辺は樹林帯で囲まれているが、西側は樹林帯を隔てて集落、東側には水田、東関東自動車道や他の太陽光発電所が存在している。北側及び南側は樹林帯を隔てて水田が広がっている。また、香取市を含む霞ヶ浦から利根川下流域は「霞ヶ浦・浮島及び利根川下流域と周辺水田地域」として、平成 28 年に環境省の生物多様性保全上重要な里地里山に指定されている。

■実施した環境影響調査

香取市及び千葉県における既存文献資料調査、並びに専門技術者による現地踏査及び地元関係者へのヒアリングを実施している。

■関係者（地域住民など）との情報交流の状況

事業に先立って、地元住民等への説明会が行われた。また、環境配慮計画書を事業者のホームページ公表し、意見を受け付けた。

■事業者が作成した環境配慮の取組計画（例）

- 建設工事中の配慮：建設機械の稼働による影響対策として、作業時間を 8～17 時とする、日曜日は作業しない、低騒音・低振動の機械・工法を採用する。工事用車両の走行による影響対策として、アイドリングストップ、車両台数の削減、適時・適切な道路清掃を行う。工事中の濁水対策として調整池を設置する。



環境配慮に関するコメント

残置林の維持状況をフォローアップ項目としていること、濁水対策として調整池を設置し、容量を超えた越水は場外の既設浸透池に導水する計画としていることは評価できる。

一方、濁水対策として設置する調整池については、適切な管理をお願いしたい。また、事業予定地を含む「霞ヶ浦・浮島及び利根川下流域と周辺水田地域」が、生物多様性の保全上重要な里地里山に指定されていることから、残置林への鳥類の飛来状況等についても確認をお願いしたい。